

西始良校区まちづくりプラン

(西始良校区振興計画)



始良ニュータウン全景

平成30年4月

西始良校区コミュニティ協議会

目 次

はじめに	P1
I 西始良校区の概要	
1 西始良校区の位置	P2
2 西始良校区の特色ある風景・史跡・芸能等	P3～P4
3 西始良校区コミュニティ協議会組織図	P5
II 西始良校区の現状と課題	
1 校区の現状	P6
2 西始良校区の課題	P7
III 西始良校区がめざす将来像	
1 校区がめざす将来像	P8
2 各分野の基本方針	P8
IV 主な取り組みと役割分担	
1 校区がめざす将来像	P9
2 各専門部の取り組み	P9～P11
V 計画の推進に向けて	P12
VI 資料編	
1 計画策定の経緯	P12
2 西始良校区まちづくりプラン策定委員会委員	P12
3 校区マップ	P13

はじめに

始良ニュータウンは、始良市初の大型団地として、1977年（昭和52年）8月から造成が開始された。3年後、1980年入居が始まり自治会組織が結成された。ニュータウンが建設されるまでは始良町の大字平松に属している地域であったが、ニュータウン内については住居表示が施行され町名は西始良となっている。

また、小学校は、始良小学校の校区であったが、ニュータウン造成に伴う児童の増加により始良小学校が分離され、入居開始5年後に西始良小学校がニュータウン内に開校した。

当団地は、錦江湾と桜島が眼前に開け、朝夕の景色は一幅の絵を見るようである。又、北東の方向へ目を移すと、霧島連山が展望される。風光明媚にして緑豊かで、近くには泉質・湯量共に優れた温泉もあり快適な住宅地でもある。台地を切り開いて造成されたため校区での高低差が大きい。西側と北側は崖になっており、崖下は九州自動車道が通っている。

ところが、平成5年8月6日の豪雨（8.6水害）では、この斜面が大規模な崩落を起こして甚大な被害を受けた。九州自動車道は長期間にわたる不通の一因となった。その後、集中豪雨の被害地を整備し、平成9年に延べ面積6ヘクタールのサポーランドパーク始良が開園された。この公園には、遊歩道・ジョギングコース・水遊びの池・野鳥の森の他、ミニチュアのダム等が楽しめるスポットとなり西始良校区民の憩いの場となっている。



サポーランド風景

I 西始良校区の概要

1 西始良校区の位置



校区の全景

【位置】

始良ニュータウンは、始良市中心部より西方約2.5kmの丘陵に造成した団地である。写真で観られるように周囲は森に囲まれている。南東方向に開かれた明るい地域である。

【アクセス】

公共交通機関としては、

JR九州

日豊線重富駅まで約4km、始良駅まで約3.5km、帖佐駅まで約4.5kmの位置にある。

バス路線

鹿児島交通が運行する、始良ニュータウンと鹿児島市の伊敷ニュータウンを始発・終点とする12便が運行している。

始良市循環バス

南国交通が運行する始良市内循環バスが、始良ニュータウンとイオン間を4便運行している。

自動車関係

九州縦貫道が、団地の近くを通っており、始良ICまで約2kmである。間もなく団地から1.5km位置する桜島SAにスマートインターが設置される予定である。交通の便が格段に向上することになると期待されている。

2 西始良校区の特色ある風景・史跡・芸能等

新興団地の為、特に史跡や伝統芸能等は無いが、校区コミュニティ主催の夏祭り・レクリエーション大会・文化祭等が伝統になりつつある。



① 夏祭り



② レクリエーション大会



③ 文化祭



④ 意見発表会



⑤ いきいきサロン（合同研修会）



⑥ 西あいらっ子見守り隊



⑦ いきいきワクワク塾（おやじの会）



⑧ ベタンク・ソフトバレー大会

3 西始良校区コミュニティ協議会組織図

- (1) 設立年月日 平成27年4月24日
- (2) 構成団体 西始良校区5自治会（東・西・南・北・県住）

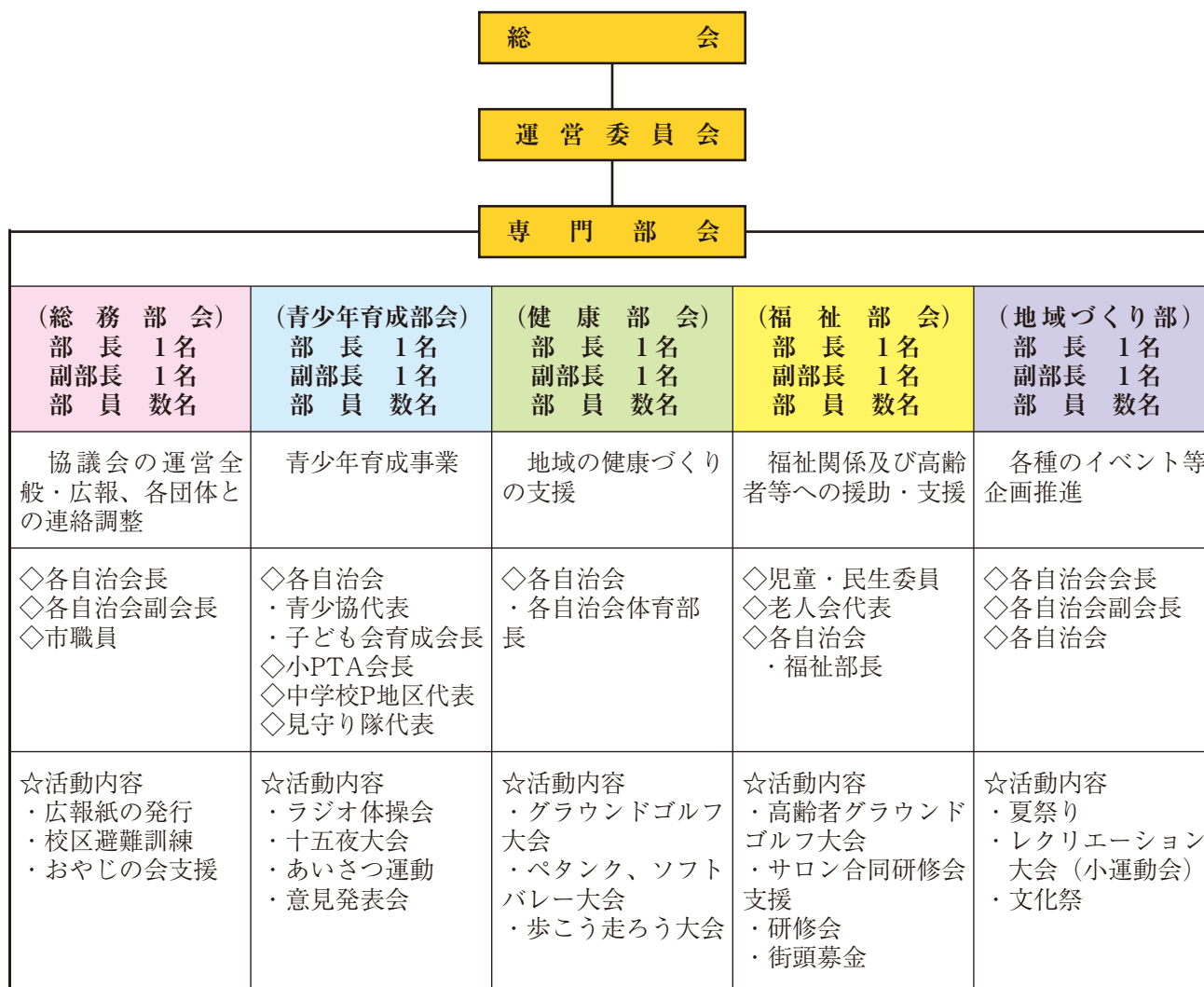
(3) 運営上の現状

発足以来着実な歩みが続けている。役員等は、各自治会の会長職等を中心に選出している。主な活動等は、従来存続実施していたものを引継ぎ、伝統を大事にしながら、それぞれの専門部で新たに創意工夫して実施している。また、会員への啓発は、年間4回の機関紙「あいらニュータウン」を発行している。好評を得ながら会員の協力体制が徐々に醸成されつつある。

(4) 平成29年度役員名

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	桐 野 弘 城	副 会 長	前 田 昇 一
事 務 局 長	岩 重 郁 夫	事 務 局 次 長	志 摩 匠
会 計	財 津 健 二	総 務 部 部 長	下 川 路 久 夫
青少年育成部部長	鶴 木 孝 夫	健 康 部 部 長	権 丈 正
福 祉 部 部 長	万 福 勝 則	地 域 づ くり 部 部 長	濱 田 建 一

(5) 組 織 図



II 西始良校区の現状と課題

1 西始良校区の現状

- ① 人口 男子1,780人 女子1,919人 合計3,699人
- ② 世帯数 1,527世帯
- ③ 高齢化率 35.9% (65歳以上)
- ⑤ 関係小学校
- ・ 西始良小学校 男子92人 女子85人 合計177人
- ⑥ 消防団 独立した消防団はないが、現在、始良市消防団、重富分団に西始良校区から3名の団員が所属し活躍している。
- ⑦ 校区の主要施設
- ・ 汚水処理場（始良ニュータウンクリーンセンター）
 - ・ グループホーム「ほほえみ」
 - ・ 児童クラブ「西始良」
 - ・ 認定子ども園「ひまわりこども園」
 - ・ 始良ニュータウン中央公園
 - ・ 西始良校区コミュニティ事務所
 - ・ サボールランドパーク始良
- ⑧ 校区の特徴
始良市の大型団地として昭和52年から造成され、それ以来約40年を経過し、所謂ベッドタウンとして入居者が増え続け現在に至っている。入居のほとんどは共働きの世帯が多く、また、高齢者世帯も増加しつつある。当団地は、新興団地のため神社仏閣もなくこれと言った産業や伝統的なものもない。公共的な施設も皆無である。団地内では49の小規模な個人経営（私たちの西始良マップ参照）があり、大型のストアはなく、ほとんどの住民が市街地の商店等へ出かけて買い物をしているのが現状である。今後は、病院の開設及び簡易郵便局の進出が予定されている。
- ⑨ その他（汚水処理場「始良ニュータウンクリーンセンター」）
始良ニュータウンには、団地造成当初より雨水と汚水を別々に排除する分流式で整備が進められ汚水処理場【始良ニュータウンクリーンセンター】が設置されている。住民の下水道に対する関心は高く、住民自ら「始良ニュータウン団地管理組合法人」を設立し、下水処理事業を円滑に運営してきた。しかし、下水処理場の恒久的な自主運営は、住民の安心安全を保障するものではなく、行政に移管すべきということで、平成22年に始良市に施設の全てを移管した。クリーンセンターの概要は次のとおりである。

項目	内容
汚水処理能力	1,920t/1日
処理方法	活性化汚泥処理（微生物の働きによる浄化）
流入量	1日平均960t
放水量	1日平均960t

（日本浄水管理株式会社提供）

2 西始良校区の課題

総務部

西始良校区コミュニティ協議会は、始良ニュータウン団地として、汚水処理場施設の住民による運営を通じて、又、西始良小学校区として、夏祭り・自治会対抗の運動会の開催は、団地開発当初とコミュニティとしての活動を行って来たので極めてスムーズに移行した。

各自治会会員は、コミュニティ協議会の会員でもあるため、年に4回広報紙「あいらニュータウン」を発行し、自治会との関係を深めながら運営してきた。

【課題】

- ア 各自治会では、正会員の減少が否めない。校区民は全てコミュニティの会員であると詠っているが、コミュニティ会員との関係の在り方。
- イ 各自治会の会長・副会長は即コミュニティ協議会の総務部員でもある。今後の役員選出の在り方。
- ウ 各自治会の問題点を検討し、コミュニティ全体で取り組める行事等の精選。

青少年育成部

青少年育成部は、関係団体や地域の代表等で部員を構成している。これまで主に夏から秋までの行事を展開してきているが、少子化が進む中で、校区での青少年育成の機運を高めていくことが課題である。

【課題】

- ア 地域子ども会の会員の減少、子育て中の保護者の負担軽減に配慮しながら部員の協力体制を整備していくことが望まれる。
- イ 夏休み中のラジオ体操会は、顔合わせ、あいさつ運動、声かけなど青少年育成の絶好の機会である。老若を問わず地域全体での支援と参加を啓発したい。
- ウ 小学生、中学生代表8人が意見や作文を発表する青少年意見発表会は、例年70名ほどの参加であり、より多くの参加が得られるよう手立てと啓発が必要である。

健康部

過去、体育振興会が築いて来た行事の中で、ソフトバレー・ペタンク大会・グラウンドゴルフ・歩こう走ろう会を引き継いだものである。参加者も年々増えてそれぞれの大会を盛り上げている。しかし、行事そのものがマンネリ化しているのは否めない。そこで、今後は、新たに効果の得られる行事はないものか模索中である。

【課題】

- ア 各行事への参加者が固定化。
- イ 新たな行事の開発。（例えば：大会を開催するためのスポンサーの依頼）

福祉部

サロン・文化・研修・グラウンドゴルフの四つ部に分かれ、それぞれ世話役を中心に活動してきた。サロン部は5自治会合同のバスによる研修旅行。文化部は、文化祭への協力。研修部は、高齢者を対象にした研修会。グラウンドゴルフ部は大会の実施。その他、赤い羽根共同募金への協力等無理なく出来る範囲で活動して来た。

【課題】

- ア 参加出来やすい活動内容の充実・精選。
- イ 世話役・部員への負担の軽減。

地域づくり部

当校区の3大イベントである、あいらニュータウン夏祭り・校区文化祭・レクリエーション大会等多く会員の皆様の協力の下、事故やトラブルも無く実施してきた。この行事によって校区民のつながりの輪が広がった。今後限られた予算の費用対効果と準備等の観点からも、夏祭り規模・内容等を検討する必要がある。

【課題】

- ア 3行事共に、準備する者・参加する者が固定化する傾向にある。
- イ 特に若年層の企画・準備等への参加奨励の工夫が必要。
- ウ 住民個々の趣味や特技を把握し、進んで教示や発表して頂く環境づくり。
- エ レクリエーション大会の雨天時の副案の作成。

Ⅲ 西始良校区がめざす将来像

1 校区がめざす将来像

平成27年4月24日、西始良校区コミュニティ協議会が発足した。協議会の目的は「校区内における共通の課題解決や地域活動の活性化を図ること」である。そのため、校区内の各団体をひとつの組織にまとめ、各団体が今まで築いて来た歴史を尊重し、新しい組織の中で5つの部会で行事等を推進し活動してきた。その中であって、新しい夢のある町づくりを目指してきた。ややもすると、団地の中にあっては、人間関係の希薄さは否めないが、各組織の頑張り、協力しながら住みよいまちづくりを進めたい。

将 来 像

向こう三軒両隣 気配り助け合い 支え合う

～健康で 温もりのある 安心・安全な町づくり～

2 各分野の基本方針

専 門 部	項 目	内 容
総 務 部	目 指 す 姿	健康で 温もりのある 安心・安全な町づくり
	基 本 方 針	1 各自治会との関係を深めつつ、校区の課題を共有しその解決に向かって活動する 2 各専門部活動内容の結果を検証し、改善を推し進める。 3 校区に埋もれている人材の掘り起こしと、積極的にコミュニティ協議会で積極的な活用を図る。
青少年育成部	目 指 す 姿	西始良で育つ「宝の子どもたち」に「最高のふるさと」づくりを進めよう
	基 本 方 針	1 校区で育つ青少年の健全育成は校区民が責任をもつ気風を醸成する。 2 校区内外でのあいさつ運動を進めるとともに、進んで声かけから実践する。 3 子どもたちが将来「誇れる故郷」と振り返ることができる活気あふれる環境づくりを進める。
健 康 部	目 指 す 姿	活気あふれ みんなで参加 地域に絆
	基 本 方 針	1 レクリエーション大会は、若い世代も多くなりつつあるが、誰でも楽しめるプログラムの作成をし老若男女の多くの参加。 2 行事によっては参加者が固定化しつつある。若い世代の参加を進める工夫をする。 3 各自治会の体育部長との関係を深める。
福 祉 部	目 指 す 姿	みんなが元気で支え合う
	基 本 方 針	1 みんなが若々しく、新しい出会いの場づくり。 2 各自治会のいきいきサロンとの交流の場の設定。 3 地域アドバイザー・児童民生委員との関係を深める。
地域づくり部	目 指 す 姿	心情と笑顔が結びあう地域活動
	基 本 方 針	1 各種行事へ、子どもから高齢者まで・企画準備に携わる。 2 「みなで関わり、みなで参加」を合い言葉に、「楽しいね、嬉しいね」の輪を広げる活動。

IV 主な取り組みと役割分担

1 校区がめざす将来像

将来像	専 門 部	目指す姿	取り組む分野
向こう三軒両隣・気配り助け合い・支え合う活動	総 務 部	健康で 温もりのある 安心・安全な町づくり	自治会活動との連動
			各団体の支援
			広報紙の発行と啓発
	青少年育成部	西始良で育つ「宝の子どもたち」に「最高のふるさと」づくりを進めよう。	子ども会活動
			地域と学校の関係・協働
			福祉部との関係
	健 康 部	活気あふれ みんなで参加 地域に絆	自治会体育部との関係
			校区小・中・高との関係
	福 祉 部	みんなで元気で支え合う	老人会
			いきいきサロン
			児童民生委員との関係
	地域づくり部	心情と笑顔が結びあう地域活動	地域資源活用
自治会との関係			

2 各専門部の取り組み

専 門 部 名		総 務 部					
目 指 す 姿		健康で 温もりのある 安心・安全な町づくり					
(現在取り組んでいること)							
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会との定期的な関係 ・広報紙の発行 ・避難訓練 							
(今後取り組むこと)							
	項 目	役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
自治会活動	自治会への加入促進支援		○		→		
	自治会専門部長との連携	○			→		
	自治会選出の部員の支援	○			→		
地域での活動	おやじ会の支援	○			→		
	高齢者生きがいづくり		○		→		
	住民の多種・多様な才能のほりお越し活動		○		→		

専 門 部 名		青少年育成部					
目 指 す 姿		西始良で育つ「宝の子どもたち」に「最高のふるさと」づくりを進めよう					
(現在取り組んでいること)							
		・ラジオ体操会		・夏休み中のラジオ体操会		・十五夜大会	
		・あいさつ運動		・意見発表会		・愛のパトロール	
(今後取り組むこと)							
項 目		役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
子 ど も 会 活 動	子ども会加入促進		○		→	→	
	行事の精選工夫	○			→		
	部員の協力体制	○			→		
地 域 学 校 で の 連 係	意見発表会		○		→		
	あいさつ運動の促進		○		→	→	→
	ラジオ体操会の啓発	○			→		
	高齢者との交流	○			→		

専 門 部 名		健 康 部					
目 指 す 姿		活気あふれ みんなで参加 地域に絆					
(現在取り組んでいること)							
		・グラウンドゴルフ大会		・ペタンク・ソフトバレー大会			
		・歩こう・走ろう会					
(今後取り組むこと)							
項 目		役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
各 種 大 会 の 啓 発 活 動	参加しやすい仕組みの検討・改善	○			→		
	新たな大会の開発	○			→	→	
	小・中・高生の参加者の啓発	○			→		
各 種 行 事 の 工 夫	グラウンドゴルフ	○			→		
	ペタンク・ソフトバレー	○			→		
	歩こう・走ろう会	○			→		

専 門 部 名		福 祉 部					
目 指 す 姿		みんなが元気で支え合う					
(現在取り組んでいること)							
		・ 高齢者グラウンドゴルフ大会		・ サロン合同研修会			
		・ 赤い羽根立哨		・ 高齢者対象の研修会			
(今後取り組むこと)							
項 目		役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
各種大会の啓発活動	参加者の奨励	○			→		
	研修内容の充実			○	→	→	
	活動内容の充実・精選	○			→		
各種行事の工夫	グラウンドゴルフ大会	○			→		
	サロン合同研修		○		→		
	研修会活動の充実		○		→	→	

専 門 部 名		地 域 づ くり 部					
目 指 す 姿		心情と笑顔が結び合う地域活動					
(現在取り組んでいること)							
		・ 夏祭り		・ レクリエーション大会			
		・ 校区文化祭					
(今後取り組むこと)							
項 目		役 割 分 担			実 施 時 期		
		校 区	協 働	行 政	短 期	中 期	長 期
各種大会の啓発活動	各種大会への若年層の参画	○			→		
	小・中・高の参加促進	○			→		
	3行事の参加者固定化の打破を図り 参加奨励の工夫	○			→	→	
各種行事の工夫	夏祭り	○			→		
	レクリエーション大会	○			→	→	
	文化祭	○			→	→	

V 計画推進に向けて

西始良校区コミュニティ協議会は、設立当初から各専門部が基本的計画に従って各事業を積極的に実行してきた。果たしてこれで良いのかと考えるとき、今後、各専門部に肉付けをしながらコミュニティ協議会の運営を推進しなければならない。

コミュニティとは何かを、今一度考えてみるとこの「まちづくりプラン」を立てながら新たな試みをしていかなければならないと考えた、地域で学び・育つには、地域住民がこの地に住んで良かったと生きがいを持てることも大事である。

しかし、西始良校区は典型的な団地で住民関係の希薄さは否めない。これを打破するには、地域活動に消極的な住民をいかに積極的に参画させるかである。それには、地域住民の声を積極的に取り入れる土壌づくりも肝要である。したがって、住民の活動を前面にだすまちづくりが問われる。

今後、笑顔で暮らせる元気なまちづくりを目指すには様々な課題も見えてくる。

① 高齢化・独居の増加 ② 地域で守り育てる子育て支援 ③ 火災・地震などによる地域防災の低下 ④ 病院や買い物に行く生活環境の低下 ⑤ 若年層の地域行事へ積極性の希薄等以上の事を、まちづくりプランに組み込むためには、コミュニティ協議会として、地域アドバイザー・地域リーダーの育成も大事である。

当、校区コミュニティ協議会もいよいよ4年目に入る。「まちづくりプラン」をよりどころに日々精進しなければならない。

VI 資料編

1 計画策定の経緯

期 日	項 目	会 場
平成28年 5月	基本案、作成・現状確認	西始良校区コミュニティ協議会 事務所
平成28年 8月	検討会	西始良校区コミュニティ協議会 事務所
平成28年12月	検討会	西始良校区コミュニティ協議会 事務所
平成29年 6月	検討会	西始良校区コミュニティ協議会 事務所
平成29年 8月	検討会	西始良校区コミュニティ協議会 事務所
平成29年12月	検討会	西始良校区コミュニティ協議会 事務所
平成30年 1月	検討会	西始良校区コミュニティ協議会 事務所

2 西始良校区まちづくりプラン策定委員会

No.	役 職	氏 名	備考
1	西始良校区コミュニティ協議会 会 長	桐 野 弘 城	
2	〃 副 会 長 (西始良北自治会長)	前 田 昇 一	
3	〃 会 計 (西始良西自治会長)	財 津 健 二	
4	〃 事務局 長 (西始良東自治会)	岩 重 郁 夫	
5	〃 事務局 長補佐 (西始良県住自治会長)	志 摩 匠	
6	〃 総務部 長 (西始良東自治会長)	下 川 路 久 夫	
7	〃 健康部 長 (西始良南自治会)	権 丈 正	
8	〃 福祉部 長 (西始良南自治会)	万 福 勝 則	
9	〃 青少年 育成部 長 (西始良北自治会)	鷗 木 孝 夫	
10	〃 地域づ くり部 長 (西始良南自治会長)	濱 田 健 一	

西始良校区コミュニティ協議会

始良市西始良1丁目22-3

TEL 0995 (73) 8415

FAX 0995 (73) 8416

メールアドレス：nisiaira-aikomi@po5.synapse.ne.jp